

株式会社 キミヤ

DX宣言書

2025年2月7日
株式会社 キミヤ
代表取締役社長 木宮 祐二

□ 経営理念

シンプルであるか？エキサイティングであるか？発展・継続性があるか？お互いのためになるか？

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 新システムを活用した業務効率化を行い、組織全体のパフォーマンスを向上させます
- ◆ 農機流通のプラットフォームを構築することで、顧客への付加価値を向上させるとともに、業界全体の成長と社会の発展に貢献します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在～2026年2月)

戦略 「業務効率化の推進、および全社的なITリテラシーの向上」

- 施策
- ・ 請求管理システムの導入により、請求書や納品書等の書類を電子化し、効率的に管理する環境を構築
 - ・ 社内ソフトウェアの活用方法に関する勉強会実施や外部研修への積極的な参加

➤ フェーズ2(2026年3月～2027年2月)

戦略 「システム間の連携強化による業務精度の向上」

- 施策
- ・ 社内システムと外部のECサイトの在庫情報をリアルタイムで同期するため、システム間連携計画を策定、実施
 - ・ 上記施策にて改良されたシステムの活用に向けた勉強会、および実務に即した演習を実施
 - ・ 商品情報と在庫情報を一元的に表示し、社員が見やすくなるよう商品管理ダッシュボードを作成
 - ・ 在庫情報に加え、受注・出荷情報等を一元管理するため、在庫管理システムと受注情報等の統合を検討

➤ フェーズ3(2027年3月～2028年2月)

戦略 「製造業者と農機小売店を繋ぐ次世代プラットフォームを構築」

- 施策
- ・ 製造業者と農機小売店が繋がるプラットフォームの構築に向けた計画を策定
【具体例】
 - 24時間問い合わせ可能なチャットボットの導入
 - 顧客情報保護のためセキュリティ対策の強化

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 社内勉強会の実施 : 年4回以上(2025年4月～)
- ・ 紙の請求書・納品書の電子化率 : 70%以上(～2026年2月)
- ・ 社内外システム間の連携完了 : 2027年3月